# 候補者数が投票率に与える影響: サーベイ実験による因果メカニズムの解明

# 重村壮平

## 2021年3月25日

# 質問票

#### ■ 年齢

あなたの実年齢を下記の欄に半角数字でご記入ください。

#### ■ 投票参加

体調がすぐれなかったり、時間がとれなかったりして、投票に行けないのは決して珍しい ことではありません。あなたは、先日行われた参議院議員総選挙で投票されましたか。

- 1. 選挙日当日に投票した
- 2. 期日前制度を利用して投票した
- 3. 投票しなかった(棄権した)
- 4. 忘れた/言いたくない

#### ■ サティスファイサーの検出

あなたが帰宅しテレビをつけると政治に関するニュースが流れていたと想像してください. 以下に示すニュースが流れていた場合, あなたはそのニュースを見続けますか, それとも別の番組を見たり, テレビを消したりしますか. 各項目で示すニュースが流れていると想像しながら, あなたがとる可能性のある行動をそれぞれ1つ選んでください.

- おそらく見続けるを選択してください
  - 1. 見続ける
  - 2. おそらく見続ける
  - 3. おそらく見続けない
  - 4. 見続けない
  - 5. わからない

#### バランスチェック

標準化バイアス(standardized bias)に基づき、共変量のバランスを確認する $^{*1}$ . 図 1 は、共変量の標準化バイアスを示している。処置群 1 と統制群の比較は  $\bullet$ 、処置群 2 と処置群 1 の比較は  $\Delta$ 、処置群 2 と統制群の比較は  $\square$  で示している。共変量が群間でバランスしいると判断するための基準は、標準化バイアスの絶対値が 0.25 未満であるとする (Ho et al., 2007).

図1を確認すると、全ての共変量の標準化バイアスの絶対値が0.25未満である。そのため、実験群間において、共変量はバランスしていると解釈する。

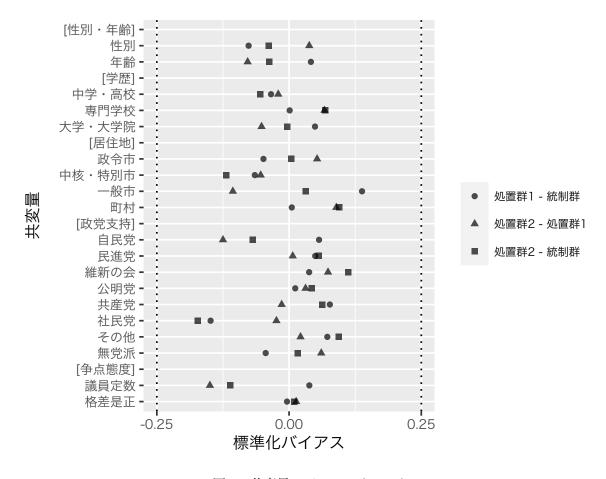


図1 共変量のバランスチェック

<sup>\*1</sup> 標準化バイアスは、R のパッケージ cobalt を用いた。パッケージの詳細は Greifer (2020) を参照されたい。

# 参考文献

Greifer, Noah. 2020. cobalt: Covariate Balance Tables and Plots, R package version 4.2.3.

Ho, Daniel E., Kosuke Imai, Gary King, and Elizabeth A. Stuart. 2007. "Matching as Nonparametric Preprocessing for Reducing Model Dependence in Parametric Causal Inference." *Political Analysis* 15(3): 199–236.